

野尻の冬の風物詩 今年も20年目の記念の年

野

尻のまちを温かく照らす「野尻町イルミネーション」が、今年で20年目を迎えます。国道268号沿いの住宅・店舗や野尻庁舎、大塚原公園が約75万球で彩られるこの冬の風物詩は、イルミネーションで地域を活性化したいと平成15年に追分地区住民25軒からスタートしました（追分地区イルミネーション町興協議会）。平成18年に「野尻中央イルミネーションまちおこし協議会」、平成20年には野

尻庁舎を装飾する「NGI Yeah Do」、翌21年には大塚原公園を装飾する「大塚原イルミネーション」が発足。現在は、4団体などで構成する「野尻町イルミネーション協議会」がイルミネーションを実施しています。

最

も多いときには約100軒が参加し、スタンプリリーや振り舞いも実施。平成24年には野尻庁舎に設置した巨大クリスマスリースが「日本一大きい3Dイルミネーション」に認定されるなど、県内外の注目を集めてきた野尻町イルミネーション。協議会として一斉に装飾するのは最後となる今年度は、来年1月7日まで点灯予定。地域住民の20年分の想いを乗せて、国道268号沿いの約2キロ、大塚原公園、野尻庁舎をイルミネーションが鮮やかに照らします。



20年の感謝を込めた「ありがとう」のメッセージボードを設置（野尻庁舎）



この日は吉井さんの自宅を装飾。協力しながらテキパキと設置していく。高い場所の装飾は、電飾を引っ掛ける棒を自作して設置している。



どんな苦労がありましたか

富岡さん 最初はガラス管の電飾だったので、電力消費が大きくてブレーカーが何度も落ちていました。

青木さん 夕方になったら、家族にあちこちの電気を消しておくように言っていました。

富岡さん お風呂のときも電気を消して入ったり。

吉井さん 最初は点灯がバラバラで、5分くらい差があったよね。

富岡さん 初めは点灯のタイマーがアナログだったので、5分くらい早く点いたり、15分くらい経って点いたりしていました（笑）

野尻町追分地区に住む富岡昇さんと、富岡さんの近所に住む吉井カツ子さん、青木伸一さん。平成17年ごろからイルミネーションを飾っているという3人に、これまでを振り返っていただきました。

ちが来て、子どもたちとの会話につながるのもうれいですね。

長年続いてきた理由は

富岡 まわりの住民の装飾を見て、綺麗だなと感じるからでしょうか。

吉井さん まわりの人の綺麗な装飾を見ると、飾るのが大変だったけど、もうちょっと飾ればよかったと思ったりします。

青木さん 他の人の装飾を見て回って、いつもあれを飾ればよかった、これも飾ればよかったと思います。

富岡さん そうやって、みんなでもっといいものを作ろうとしてきたのがよかったのかもしれない。

吉井さん 都会だったらなかなかできないですよ。ね。隣近所が仲良くしている田舎だからこそ、できたことなんだと思います。



今年のイルミネーションも楽しんでほしい

野尻町イルミネーションは、地域の活性化につなげようと平成15年に追分地区から取り組みがはじまりました。その後、追分地区だけでなく商店街の方でもやろうということになり、平成18年から私も毎年設置してきました。



野尻町イルミネーション協議会 副会長 川野博海 さん

いろいろな苦労もありましたが、団体で観光バスを使ってイルミネーションを見に来てくださったこともあるなど、野尻が有名になり、多くの人が訪れてくれるようになったことをうれしく思います。

地域住民の高齢化が進み作業が難しくなるなどしたことで野尻町イルミネーション協議会として一斉に装飾するのは今年で最後になりますが、今年もぜひ皆さんに楽しんでいただけたらと思います。

イルミネーション 今年の点灯予定

■野尻地区
11月27日（日曜）～
令和5年1月7日（土曜）
17時30分～23時
国道268号沿い約2キロ区間、野尻庁舎、大塚原公園（道の駅ゆへるのじり）

■小林地区
11月27日（日曜）～
令和5年1月6日（金曜）
17時30分～21時
JR小林駅周辺



【大塚原公園】

①② 10月下旬から約1カ月をかけて少しずつ準備を進めていく。③ 電飾が埋め込まれたボード。一つひとつ手作業で埋め込み、電飾が抜けないようにゴムチューブで穴をふさぐ。

【野尻庁舎】

④ 安全帯を着けて壁面に電飾を設置。毎週末などに有志が参加し、約1週間をかけて準備した。⑤ 子どもたちも設置をお手伝い。